

日南市子育て支援センター (宮崎県)



かんなくずでミニフラワー作り

<3つのポイント>

- ・子育て支援センター建設のコンセプトは「木育推進」。
- ・木育ワークショップを何度も開催するなどソフト面が充実。
- ・子どもが「ことごと」に行きたがるなど利用者の評価が高い。

日南市子育て支援センター「ことごと」は、木のぬくもりを感じ、木の香りに包まれながら、おしゃべりしたり、いろいろな木のおもちゃで遊んだりすることができる施設です。

平成27年に餌肥杉の産地である日南市が「ウッドスタート宣言」を行い、市民を巻き込んだワークショップを17回開催しながら、子育てと木の関わり合いを考えていく中で、木育を効果的に実施できるような子育て支援センターが完成しました。

<きっかけ>

- ①中心市街地活性化事業
市民からの子育て支援施設の要望(アンケート)
→商業地域における子育て環境の充実を図ることに。
- ②平成27年日南市「ウッドスタート宣言」

<目的>

- ・幼少期から木に触れ、木を好きな人を育てること。
- ・快適な子育て木質空間として、交流の場になること。
- ・人が集まる波及効果として、商業地域の活性化を図ること。

<施設>

赤ちゃん広場、森のステージ、ごっこ遊びコーナー、手作りおもちゃ、絵本コーナーなど、子どもの遊び場の他、休憩、情報閲覧コーナーなど、保護者が利用するコーナーも木質化している。

延べ面積:564㎡

主な使用木材:餌肥杉

<取組>

- ・第1回木育ワークショップ(餌肥杉ペンダント作り)
参加人数:29名(親子7組)
- ・第2回木育ワークショップ(クリスマスツリー作り)
参加人数:19名(親子7組)
- ・第3回木育ワークショップ(ミニフラワー作り(かんなくず))
参加人数:8名



クリスマスツリー作り

<関連Webページ>

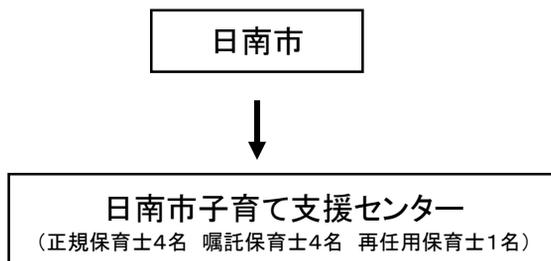
HP : <https://www.city.nichinan.lg.jp/main/life/medical-list/child/page000083html>

Facebook : <https://ja-jpfacebook.com/nichinan.kotokoto>

<課題>

- ・木のおもちゃの修理ができる人材と費用の確保。
- ・「ことごと」独自の木育サポーターの養成。
- ・アンケート調査等を実施し、要望に応じたワークショップの開催。
- ・県の木育サポーターとの情報交換や連携。
- ・子育て支援と木育を両立させる実施体制の整備。

<実施体制>



<関係法令>

日南市中心市街地活性化基本計画

<経費>

(施設整備)
 整備年度:平成27年度(設計)平成28年度(工事)
 経費:160,070千円
 設計・管理費:18,201千円
 工事費:141,869千円
 財源:交付金 71,200千円
 起債 79,900千円
 一般財源 8,970千円

(運営)

日南市一般財源 17,213千円(H29当初予算ベース)

<問い合わせ先>

日南市子育て支援センター TEL : 0987-27-3808

<ここに注目！>

子育て世代の親子にとって非常に重要な存在である子育て広場。その施設に「木育」の要素がとり入れられたことで、子育て世代が日常生活において木との関係性を育むことにつながっています。施設完成前から、市民を巻き込んだワークショップを何度も開催することで、その関係性が深まっているように感じます。